

天文同好會大阪支部幹事

古賀和吉氏著簡易星圖

本圖は北極を中心として赤緯南五十度を包擁した恒星圖で、等級は四等まで、其の他重要な變光星、連星、星團、星雲等を網羅し、星座間の境界線がある上に、星と星とを連結し、星の配置が色々な形に連想する上に大變都合がよい。星圖の直徑は一尺一寸二分で圓形をなし、一目瞭然本邦にて見える天空が全部展開され居る。等級が四等まで、餘り色々な文字や天體が記入してないから初心者用ゐるには最も手頃で、是非一般人士の座右に備へられむ事を勧誘する。圖の側には各月一日午後九時南中の星座を列擧して夕方の觀望に便利を興へ、著名なる星にはバイエル式・特別の名稱とを比較してある。此れも初歩の者に取り、最も親切な方法である。ギリシヤのアルファベットの讀方は書いてないが、本誌第一號を見れば心配なく解り、誠に簡易便利で且つ廉價な圖である。(古川) (本會出版定價金拾錢)

同氏著 古賀恒星圖

此の星圖は篤學熱心な著者が學生の努力の結晶であつて、同氏編纂中は實に側に見る目も氣の毒な程勞苦して居られた。恒星、星雲、星團、新星の總數實に四千三百七十三個、星の位置は最も新らしく千九百二十二年の春分點に準じ、且つ山本助教の綿密な校閲を経たものである。全體前圖と同じく矢張り紙質上等の一枚刷りで殊にメシアの星雲、星團の表の全部を記入したのは甚だ多とする所である。例へば模範的螺旋狀星雲M五一は本圖には獵犬星座の北部にちやんと載つて居る。上の右の圓形圖は北極から赤緯北五十度、左は同様のもの以南極から南五十度、下圖は矩形をなし、秋分點を中心として左右へ天球全部を開展し、上下は赤緯各六十度まで、銀河は北部を除き、大體連續して居るから、銀河に對する天體の分布などを考へる場合に頗る都合である。其れから本圖に就いて特筆すべきは二十八宿を記入し、且つ有名な星には大抵支那名稱が併記してあることである。アークチユルス、スパイカ、レギユルスに夫れ／＼大角、天門、女王と書き添へてあるの

と共に晚餐をいたゞく。

夜の集りは同じ講堂で七時から。これは同好會神戸支部の久しぶりの例會なので、市内の會員達が澤山來會せられた。先づ渡邊幹事の挨拶、新仕三浦幹事の紹介、それから私の講演となつた。題は「オリオン星雲」といふので、その位置、その形状、その物理、その觀察、その最近の消息、宇宙的意義など、一通りの事柄にわたつた。之れも今は畧す。講演を終へて、外に出て見れば、風の無い暖かな晩で、空はよく晴れてある。集まつた人々は星座を指さす人、望遠鏡を覗く人、それ／＼の向きに、貴い時間を過した。すべて終つて室に歸つたのは十一時頃であつた。

翌二十四日。此の日は朝八時から、學院の朝の集りに出て、私は宗教生活に關する短かい感想を述べた。それから、あはたゞしく院長や諸教授に別れを告げ、九時半から、神戸女子神學校に招かれて、日曜學校問題について一場の講話を試みた。之れが終つて、三宮驛を東行の列車にのつたのは十一時に近かつた。

汽車は西の宮で下車。少しく私用に時を費し、午後五時頃になつて、電車で尼ヶ崎に着

は其の一例である。此の點から言へば支那學者でも一葉を備へる必要があると思ふ。

月並な新聞、雜誌の附録にある世界地圖などを書齋の壁に貼り付けて直ぐ閉却して終ふより、同じ厚紙を貼る位なら珍らしい此の地圖を掲げて、多少なりとも天上来に親しみ、時々人間界、煩累から脱するのも亦樂しからずやと言ひたいのである。(古川) (本會出版、定價金壹圓五拾錢)

大阪の計量博覽會

大阪の商品陳列所内に四月一日から開會せられる筈の計量博覽會には、京都大學の天文臺から宇宙の計量に關する出品をする筈で山助本教授は其の準備に忙殺されてゐる。出品物は六百時の月の寫眞を始め、太陽や火星の圖、それに遊星や恒星の大きさの比較、宇宙度量衡の表、その他、望遠鏡や天體の各種の模型など。尙「火星の接近」と題する大模型は直徑八尺の軌道上を火星が運行する有様を地球から觀る關係で、恰も本誌の口繪を生かしたやうなものである。一般同好者の見逃がされないやうに望む。

一寸望遠鏡による太陽投影法

中 村 要

本年一月號の觀測の手引の太陽の部に、此の望遠鏡は投影法には適せぬと書きましたがあれはGレンズを用ゐた爲めに結果が悪かつたので、あれにA Bレンズを組合せて、望遠鏡の軸の中心でBレンズから約三尺位離れた所で焦點を結ぶ様にすれば、直徑二寸位の、何等色付きのない見事な太陽の像が見えます周圍を暗くすれば、よくもこんな望遠鏡で立派に行けるものだと感心する位立派に行きます。黒點の觀測は勿論、白斑、米粒組織の觀測まで立派に行ひ得ます。もし工夫すれば寫眞も大丈夫されると思ひます、少し長くなるので不便ですが、巧みな方法です。此れはカナダ天文學會の「Comet」に出てゐたのを一時適用したのです。私の經驗では Okway の二吋でやつた投影よりも此の方がよくわかる位であると思ひます。

約の如く、同地の女學校に行くこと、木村教諭が喜んで迎へ下さる。

尼ヶ崎では、夜に觀望もやりたいつもりで大阪からご御影からご二つの望遠鏡を借りて来て置かれたが、生憎此の夜は、昨夜に反して、全くの曇り、雨さへ降り出したため、集つた人々は諦め好く、定刻には講演會場に集まつた。來會者の中には西の宮や池田伊丹あたりから來た人もあつて、意外の盛況である私は七時、壇に上り、前後二時間半、天文学上の一般講話をやつた。

會後、四五の有志と歡談數刻、十時、村山氏に見送られて女學校を辭し、大阪までは電車、それから汽車を好い氣持に居れむりながら、夜半、京都に着、驛頭に出て見れば、外には念の入つた雨がしとくと降つてゐる。

ハガキ便り

山本先生 御健康を祝します。
先生、嬉しいことです、新しい尋常五年生の國語讀本を御覧になりましたか「星の話」が教材に出てゐますよ、内容には星の運動、色、北極星、星の傳説が示してあります、天文が立派に教課の中に這入つて來ました。

二月十七日 伊丹小學校 津田 雅三